

學訓

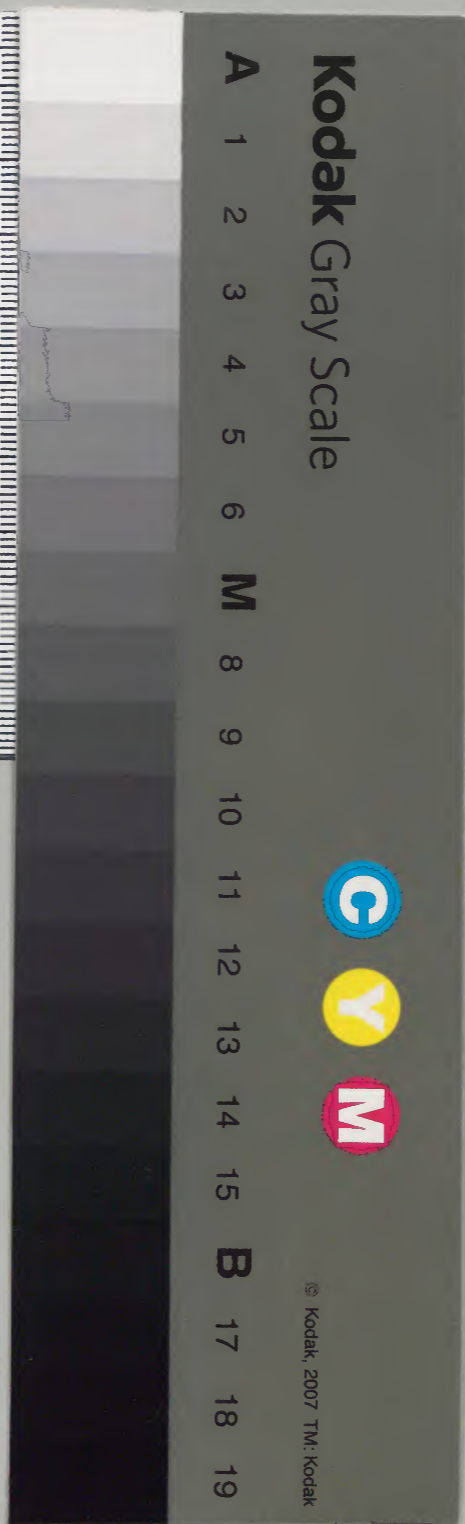
361

內閣文庫			和書類
函	冊	號	
一六	五	二六九五	
冊			

內第...書圖共...冊

大政官文庫			和書門
冊	架	函	
五	九	九	
	八	九	
	五	五	

內閣文庫		
番號	和	11695
冊數	5	(1)
函號	190	361



益軒貝原先生著

初學訓

京師書坊柳枝軒藏板

初學訓序

初學訓序

益軒先生遺編也

今茲

工人命

益軒先生遺編也

今茲

因

益軒先生遺編也

今茲

在

益軒先生遺編也

今茲

何

益軒先生遺編也

今茲

何

益軒先生遺編也

今茲

初學訓

序

乃るめとていひあつたりとの謙詞も又
一然も敬く此書公誦とらに其言簡
要して其旨ひろく聖学れ大なること
と其梗概に備りて事なり
不謂法例の中にもとりまれば親切著明の
懿訓ちりと云ひて人として学ばつて
るがくれとく躬に行之事かくはる

たつた右の聖賢君子ふもれとて抑え
て以何ぞ秘学の謂うんや然いわれと
聖学れ蘊奥さいなりたて其事業甚大
かり学問思辯乃切熟し学ばぬのはら
積るふあつとていひ豈一朝一夕に能得る可
るんやとてと遠大に志あつて
小成り安んじまらふ小文字公讀て是

不謂法例

〇言二

一考わつとせむるの亦豈先生の學心
可なりや是亦初學訓と名つるを結ぶ家
意こころたるに平時享保戊戌夏五月望
日謹こころ書と

竹田定直

初學訓卷之一

初學訓卷之一

貝原篤信著

初はつそ人と初はつ終る者ハ父母これと云り
いと其本と云るは天地乃生理と
云けく生る故に天下の人ハ皆天地乃
子孫こくそんなり是ハ天地を以て父母
と云い尚書しやうしやうにも天地ハ萬物の父母と云り
父母ふぼは天下の父母也其上かみにして後父母の養と

得て生長し君恩に身を盡し
其存とをわきまへ皆天地の生ずる物と
用ひて食む衣て家て器て身を
中てよあり抑て人とお終る者なりと
天地乃生理とて生むくはるものなりと
ひかれては身とわらるはる天地乃養と
うもて身となりて然れ人の万物
下りし多天地の生ずる大恩をうあ
たりあはれん人乃ははるてあはれん

よはりの父母はくして力とほくもの云に
及んば一生の間ひの天地はく人なり
て其大恩に報てんをさるる
是ち人なりてはひよあはれんくは
事ぬとある人なり
人とならぬのひの天地はくして其大
恩に報てんをさるる父母はくして孝と
ひるあはれん天地はくして仁とほくして
と仁はあはれんあはれん人物とあはれん

と云ふ是天乃りくもいふをて天地
不けり道也是人の道と云ふ存意あり
て一生乃り回つて人となりたり
らにけり人なりは天にけりて仁なりと父母
にけりて孝なりといふ同一仁孝一理なりと
人なる者の必ちるを終へて理なりと
かりは又是より急なるいふこと人
父母の家より長くは父母に孝なり君
にけりて君に専ら忠なりけりといふ

天地乃中にありて天地にけりて仁と
けりて人となりて人なる者なりと云ふ
ていふに日月星辰と世にけりて一生に
けりて人となりて人なりと云ふ
る者なりと云ふは人なりと云ふ
と云ふは此の道ありといふは
乃道なりといふは
天にけりてをていふは人となりて
天道の眼ありてありてありて

はひて天道とわかれしやまいてあかぢうは
かりにもとまきぬるむい無道ののりともとん
くは天道とまきぬるむい無道ののりともとん
るりくちりて人をあかぢうをまきぬるむい
つくわいおまきぬるむい無道ののりともとん
足路よ人倫とわかれしやまいてあかぢうは
ろこまいて天地のり人のあかぢうはけり出し路よ
五穀とよりぬれきりくちり一人の秋のり
よみりふはりやまきぬるむい無道ののりともとん
鳥獸とくさう蟲魚ちゅうぎょの生る

物とてんりはこりさ草本とも何あはれしや
みりぬるむい無道ののりともとん
りぬるむい無道ののりともとん
天地乃清くよまきぬるむい無道ののりともとん
かこのくちり物とわかれしやまいてあかぢうは
これこのくちり物とわかれしやまいてあかぢうは
地はけりぬるむい無道ののりともとん
次よ萬民とわかれしやまいてあかぢうは
をそまいて是天地の清くよまきぬるむい無道ののりともとん

行ふ序^{つた}なり親とおもひて他人をおもへんと
おもひて鳥獸とおもひて不仁なり

凡人の天地のめぐりて生れ天地のめぐりて
うけくをくく天地の養ひ得く身と申すは
くは天地乃大恩とうけて天地の内よりとも
かゝるて地のけまいたる人給くをく徳と
て保^たはん天地の道うくむとて行つと其上
天地乃子としておもひて給く人倫と決り
鳥獸とともむいふ給く不仁なる天地の

清をいふひて罪ゆへ是天地のめぐりて
天道はたさるる下におもひてうけくをく
人とて人とおもひて人をわらぬは悪されり
たかひこれと悪はひの天のめぐりて天の
せりのめぐりて即何よけりいあつと後小禍
来るよのめぐりておもひて禍^{わざ}なり
ちとて天地乃清くはまゝういであらう人
は天地れめえありて必福^{さいふく}ありり
く来るこれと必福^{さいふく}なり我身

福をけしむる子孫よりして福あり是必然の
 理なり古の聖人の教明くも也聖人乃言わ
 るる下位よりして上りて古の道に及
 るは辺世にいては多し
 天地の生する而人と貴くは是仁義禮智の五
 常れ性をうきて人倫の道なり是人の業物
 として多し是のありは五常としてしるす
 うはこれと生くは天地よりして人はいく
 るのうへ人の天地の生する五穀のよれ味鳥獸

魚介のうへは肉とくして身を穿るは布帛を
 わてふまは家より居く風寒暑湿と物をたて
 身とやえんは衣食家居の事なり父母を君の
 恩よりわりとくも其本は皆天地の生くは
 なるをばもの也されは人のかくのまはく天地乃
 きはよりかたは清くも濁くもその業物
 するはよりくは天恩はうきてしるすは
 ぬれりかたは天恩を忘れぬ人とのく生れる
 身乃貴くは理としてしるすはこれ

およそ人の恩は返さるるべし恩は返さるるはみく人こそ
 恩とあつたれは鳥獸も同じ君は忠し親は孝
 とふも君父の恩は報ゆる道なりけぬ恩と
 ちりり人の必親し孝あり君は忠あり恩は志
 らざる人のた孝あり忠孝をけしむ人ふれ道
 を失ふいんや人とて天地乃大恩はけしむるに
 天地乃さめふ不孝なり也人道の本は恩は志あり
 凡天地のさめる命の萬物皆是天地乃氣と云き
 たりといふも其中につとて人こそ貴きもの

かしいんをたれ人の仁義禮智信の五常の性
 わり是天地乃を氣と云きて本性なり也此身
 五倫よ交つりまれつとて五常は本性のまじ
 小順は五倫の道なり是人の貴き人
 本也其とも目よ五倫とつらり耳に五音とつと
 人はいふと味とちり鼻よ臭とく書はれり
 右は學んでい天地人乃道とさるり萬物の理よ
 通し古人天下のものとさる是人乃萬物
 とくしていと貴き要かりけり尚書に人の



物の靈^{たま}をいつり靈^{たま}をいふとてあはれうらやまを
まじあつて人^{ひと}の心^{こころ}を天地の清^{きよ}をうまき
心とてうらやま^{うらやま}其^{その}心^{こころ}靈^{たま}なり
天地の心といふ人と万物とをみ中^{ちゆう}かひ^{かひ}清^{きよ}み^み清^{きよ}め
くこの道とて其^{その}理^{こと}を天地ひらきしよりなれ
はる^{はる}はる^{はる}はる^{はる}一年にいつていふ^{いふ}年^{とし}にまは
生^{しょう}と夏^{なつ}の長^{なが}と秋^{あき}の短^{みじか}と冬^{ふゆ}の短^{みじか}といふ四^よ時^{とき}
めつりいつりて道とて天道とて是^{こゝ}を天地の万物
とて生^{しょう}理^{こと}なり此^{こゝ}四^よ時^{とき}の理^{こと}なり

道乃名^な曰^{いは}元^{もと}亨^{かた}利^{とく}貞^{ちか}とて是^{こゝ}四^よ時^{とき}の理^{こと}なり
これと天地の道とて天^{てん}の地^ちとあはれあはす
てこれを天道とて仁^にといふ天地の万物とて生^{しょう}
者^{もの}の理^{こと}なりとて此^{こゝ}の理^{こと}と人^{ひと}の心^{こころ}をいふとて
生^{しょう}れつ^つま^まなる^{なる}心^{こころ}を仁^にといふ道^{みち}はま^まる^る天地乃
う^うら^らや^やま^まとてお^おと^とは^はる^る人^{ひと}倫^{りん}をの^のりつ
あ^あは^はれ^れる^る人^{ひと}倫^{りん}をの^のりつ^つの道^{みち}は先^ま父^ふ母^ぼ
孝^{こう}はけ^けく^くと^とは^はる^る人^{ひと}倫^{りん}をの^のりつ^つの道^{みち}は先^ま父^ふ母^ぼ
親^{しん}戚^{せき}を志^しす^すと^とは^はる^る人^{ひと}倫^{りん}をの^のりつ^つの道^{みち}は先^ま父^ふ母^ぼ

朋友に信あり況し萬民とあはれん是人倫と
あつともち也況し鳥獸蟲魚ちゆうさぎ況し況し草木
とあはれ人倫いつの同類あり天地のいつあつと
あはれん況し物あり我も亦天地に生れり
あつといて人倫をあつとあはれん鳥
獸蟲魚草木も皆天地のうみ生れり物あり
いつの同類ありあはれんもすて人倫とあつと
あはれんとあはれんも亦天地の生れり物あり
いつ天地はけりあはれん道ありすてあつとあはれん

人倫と萬物と情あり然と仁と云仁とい人と物と
とあはれんあはれん若も然とつと天地はつと人あり
て人の道とす理に仁乃外に物と仁に義禮
智信ありて其内あり

わすて天地はけりあはれん道に人倫と萬物と
あはれんあはれん其教ありんや天地其うあはれ
ん亦然とあはれん人の親なり然もあはれんあ
はれん人倫と萬物に天地はけりあはれんあはれん
あはれん是とあはれん即天地の生れりあはれん

天地よけしなる道なり故より天地乃恩哉
 報^はん^とさ^い先^のの^んよ^く天地より^をさ^すは
 仁を^のり^らて^其の^んよ^くさ^すら^して^必備^をを^取
 け^く物^し決^り美^物を^おと^す一^是即^天
 地^のつ^く人^をり^て其^の恩^を報^する^道なり人
 乃^道の^本意^とさ^はる^ゆは^りは^中に^さら^に有^り
 つ^く人^をり^たる^者は^あら^それ^をり^て
 け^るに^一

易よ天地の大徳と生^すと云^ふの^り生^すは天

地乃美物を生^すてめ^くつ^く理^と云^ふは
 つ^く天地乃^生は^る是^{なり}天地よ^りか^らん
 生^と云^ふ人の^のん^よく^をり^て仁^と云^ふ天^にあり^人
 小^{あり}て^其の^名い^かん^れも^其の^理一^{なり}
 天地乃大徳と云^ふ人乃^を生^する^は
 徳^を名^づき^て仁^と云^ふ徳^いか^んれ^も我
 の^物お^し得^る善^と云^ふ仁^い即^人乃^をり^は
 それ^の徳^をり^ての^徳なり^是人
 と^あら^ん天^の生^する^はけ^ん



と失ふははして人をあはれし物故多々くむ
 をとて理をひきつゝさるる故性も言ひ公
 故失はるは天地も志さるひてけり人さる
 道たなりひけん故失へ即天地の清公
 たりとひききて人乃道故失ふたり
 仁は公乃徳の徳名ありて物をあはれし理之
 仁とてては仁義となる義は宜しき也宜し
 義事相に相應して各よる程よりを言ふて
 人倫義相をあはれし仁たり是理一たる也

親兄弟夫婦親戚家（ん）人其外義氏とあはれ
 ひり其志さるべきなりを言ふはひききて
 程重のつらなりて各其人にお應して宜と
 義と云ひの如く物よりて宜しきなりなる
 分殊なり理一と分殊との分と志る人仁
 義乃つら其字義くれり
 天地は陰陽あり春夏は陽也秋冬は陰也人心
 仁義あり天地は陰陽あり心あり天道
 は陰陽あり人心は仁義あり心あり易



仁は天の道と立て、陰陽と云ふ人乃道と
 多く仁と義と云ふより、孟子に仁人の道
 義の人乃路なりと云ふ、仁人の生れ付る
 心也、仁をけきい人乃心証、先ん義人の心
 へさる、ちり義をけきい人の道と先ん
 仁義と云ふ、仁より礼と云ふ、義より
 智と云ふ、仁義禮智乃四徳と云ふ、一年と
 云ふ、その陰陽とある陰陽と云ふ、その
 冬、の四徳と云ふ、礼といふ、やまひ乃

仁に乃あり、れより、仁と云ふ、明く、
 してよく、若く、仁と云ふ、義の、
 仁に乃あり、れより、仁と云ふ、
 又仁を、仁と云ふ、仁と云ふ、

仁義禮智の、仁義礼智と云ふ、
 仁は、仁と云ふ、仁と云ふ、
 仁と云ふ、仁と云ふ、仁と云ふ、
 仁と云ふ、仁と云ふ、仁と云ふ、
 仁と云ふ、仁と云ふ、仁と云ふ、

ハ美也また人よし事れ付てかろくする理を
是は五常と云ふ百行美善皆此五常より出
づ又孝と云く美善皆此より出づ人乃年と
するはは又よわり此亦に仁を求むるハ天地
聖人乃道也あつた

天道ハ元亨利貞の四徳なり元ハけりまるとも也
春の徳なり亨ハと成り也夏の徳也利ハ
とらる也秋乃徳也貞ハ正也冬乃徳也
是春夏秋冬の理なりは道也人乃はこれなり

春ハ和とくハ夏の和りく秋ハとく冬ハさむさ
とまはる也春ハ生ハ夏の成り秋ハ收り
冬ハ蔵り也春ハ仁也夏ハ礼也秋ハ義也冬ハ信也
是春夏秋冬の理なりは道也人乃はこれなり
天地ハ付て仁と信とを人乃は信ありハ天道也
仁ハ信ありハ信ありハ仁義禮智の徳也實に
してこれなり

天地ハ付て仁と信とを人乃は信ありハ天道也
仁ハ信ありハ信ありハ仁義禮智の徳也實に
してこれなり

孝子とかなる人天地はけくして仁人とかなる人
不孝れ子不仁の人とかなる人天地はけくして不仁の人不
孝の子是天地乃間の大なる罪人ありり
けりいあくして世に名をくは是幸にして
免まじくも也

凡人の天地のうめり人倫と萬物の内にてとらるる
そこなふつらの中につきて人の我と一類を
同じく天地乃子るれ人倫の内親疎ありと
同じく其本とそらわると天地乃間者人の

皆我の兄弟也いかなる萬物の内にてとらるる
人倫とあつてとらるる天地乃うめり子孫を
て天地はけくして道なり天地のうめり
人とあつてとらるる天地乃清公よりい給ふ事
人乃子孫をいれ其父母よりい給ふ事
是天地はけくして孝乃道也其父母兄弟を
あつてとらるる天地と父母とをいれ天下乃
人倫の皆りの兄弟なり
人の天地の性もそとらるる天理をいれつ

神皇正統記
一
つれは其を性なりしより言かり萬物より
も禽獸よりいれる處ありありきれた禽
もき夜とありありふき居るやとく
またゆく人乃道と云ふこれ禽獸にありし
禽獸ものもくひ身をせきするもの人
うつくし人と禽獸のわづらひ只天地の性
わいて道と行してゆくものあり古の聖人
人乃をえかく道と云ふは禽獸より
るものありて學問ありて師と立て

天下の人よ人倫の道とをいへば
人よかたきものい必聖人のをいへば
同をつとめ人乃道と云ふてゆく人
人倫とありて道なり聖人のをいへば
乃道をいへば教なり學者の學
も同じく人倫とありてふき
人のいはる人乃と云ふ
人倫よ又ありては父子二よ
ゆよの長幼ありて朋友たり是と
又倫と云ふ

初學訓

備ハ類いひなり天下に人多クといふも皆け
 五倫にふわりおらおむなといひたやれといひ
 といぬの軍ハ子の類いひ貴人者老ハ老ハ類
 一弟民乃我よりやいひさいひもいひのいひて長に
 類一兄弟後兄弟ハ長幼の内いひあり等軍
 乃人の朋友ハ類一友と信いひる師ハ君父いひ
 とい是五倫といひて天下の人をいひて五倫
 の道といひ孟子曰父子有親君長有義夫婦
 有別長幼有序朋友有信これたるといひ

子公也といひの義理の教といひて子ハ孝といひ
 其力とけく君ハ長幼といひて長ハ身を
 けといひて忠といひて夫ハ婦に義あり婦ハ夫
 小志といひて長ハ幼と信いひる幼ハ長者いひ
 志といひ朋友ハ孝といひて信いひるといひて
 免無信といひ相いひけてをいひてけといひ
 是五倫乃道なり人の道といひて終いひハ事
 けといひて信いひるといひて終いひハ事
 人乃道なりといひ

およそ人の道と云ふ所の天地より生れつた
五帝五帝は性を失つて其五性^一を失つて五
倫の道とあはれつたはあり五帝とたたりて
失つたは徳とあはれつて五帝とたたりて
五倫とあはれつたはあり五帝とたたりて
て身をおさじら道と云ふ徳は身とあはれ
つたはあり五帝とたたりて五帝とたたりて
地より生れつたはあり五帝とたたりて
天道よりつたはあり五帝とたたりて仁

義禮智信の五性是也これと云ふ五倫
およそ人の道と云ふ所の天地より生れつた
五帝五帝は性を失つて其五性^一を失つて五
倫の道とあはれつたはあり五帝とたたりて
失つたは徳とあはれつて五帝とたたりて
五倫とあはれつたはあり五帝とたたりて
て身をおさじら道と云ふ徳は身とあはれ
つたはあり五帝とたたりて五帝とたたりて
地より生れつたはあり五帝とたたりて
天道よりつたはあり五帝とたたりて仁

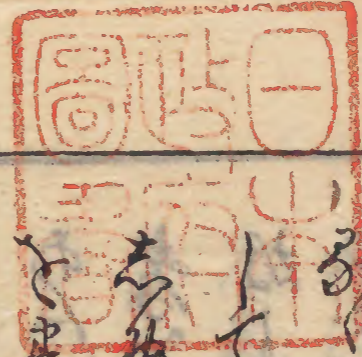
乃中といふはけいけいの中庸の性もあつて
 を道といふは性といふ人の心よまねつたがみ
 性といふは性もあつて人の心よまねつたがみ
 性をいふはけいけいの中庸の性もあつて
 乃の義の性もあつて人の心よまねつたがみ
 一身といふはけいけいの中庸の性もあつて
 利をいふはけいけいの中庸の性もあつて
 とらりの性もあつて人の心よまねつたがみ
 禮の性もあつて人の心よまねつたがみ

次第あり貴人とてむすぶるやまゝいりやまゝと
 けいけいとあつていふはけいけいの中庸の性もあつて
 失いさるは皆是禮の道也智の性もあつて人の心
 婦の別なり人の心よまねつたがみ
 夫の別なり人の心よまねつたがみ
 夫の性もあつて人の心よまねつたがみ
 夫の性もあつて人の心よまねつたがみ
 夫の性もあつて人の心よまねつたがみ
 夫の性もあつて人の心よまねつたがみ
 夫の性もあつて人の心よまねつたがみ
 夫の性もあつて人の心よまねつたがみ

つゝいふにたり

五倫の道は父母はくして孝は父子とみく奉
とんりの身は父母よりくまされい父母いもの
身は奉也其といのまれし初より父母乃奉
齋いよりて人とさなりするくと齋いよりて二
乃思あり其恩のうく大なりてまひまりみれ
ふりよりみぬく海よりみ物くしてぬく人を
とらふ物なり天地乃まれとて我と昔は
おひくこのあり孝といふ仁を父子の奉じ

人倫の道乃神と守聖人の道は父母乃道は
わつくけをみくじひひんたりつとて父母よ
孝といふは五倫の神と百行の奉は
なりたなり君子の孝は神を祀わつくけ
つとらひの才行はつとて孝はわたりと
るまの其餘はつとらふは故に人の子より
者いし父母はくして道と早くまかんと知
るなり孝の道はつとらひわたりたる事
あり也



父母はけりてふ愛敬の二乃を法ありは二の孝
 子れをとする命也人れ子なる者必是と云はれ
 老いけりては親を以て敬しは敬は
 うやまふことむはけりて親をうやまひゆを
 あとまおまはけりて父母のうとむれりてふ
 して情を以て敬まはけりて父母とわかりり
 志を以て敬まはけりて敬まはけりて大馬
 とまらりて同一敬を以て敬まはけりて父子
 の間てりりてりりて他人の事とて父母の

仁樂一まはけりて敬二たりりてそれ
 ハ孝よわはれ敬のを以て敬まはけりて
 孝よと孝とすこれ者鳥乃支翼乃まはけり
 車の支輪のまはけりてを敬まはけり

初学訓卷之一

初學訓一

〇二

秘
謝

三
日
封
大
正
十
一
月
廿
四
日

青
島
庫

